

今池ハザードマップ



注意

本ハザードマップで示している「浸水想定区域」は、一定の条件に基づく「予想」です。また、詳細な地形や水路などは反映していないことから、浸水想定区域外で浸水が発生したり、想定以上の結果になる可能性もあります。

従って、ハザードマップで示している「浸水想定区域」、「浸水深」、「浸水到達時間」はあくまでも目安であり、被災状況を決定づけるものではありません。状況に応じて早めの避難を心がけてください。



マーク等の凡例

	指定避難所
	アンダーパス(地下道)
	警察署・交番
	鉄道駅
	防災行政無線
	主要道路

※指定避難所へ避難する場合は、どの施設が開設されているか市へお問い合わせください。

- ### ハザードマップ作成の想定条件
- ①最も浸水想定区域が広くなり、浸水深が深くなる場合を想定しています。
 - ②決壊時のため池の水位は、大雨により通常時よりも上昇した状態とし、堤防が一気に決壊して全貯水量が流れ出すと想定しています。
 - ③詳細な地形や水路などは反映していません。地形を5m方眼(基盤の目)で表現し、水の流れを計算しています。
 - ④他の災害による浸水などは、考慮していません。

いつ、どうやって避難するか、家族でしっかり話し合ってください。

浸水想定区域と避難行動

まずは地図上で自宅の状況を確認！

5.0m以上	※3階部分までが水没するおそれ
3.0m～5.0m未満	※2階部分までが水没するおそれ
1.0m～3.0m未満	※1階部分が水没するおそれ ※木造の場合倒壊するおそれ
0.5m～1.0m未満	
0.3m～0.5m未満	※床下浸水程度
0.3m未満	

- ### どこへ逃げますか？
- 避難所などの浸水しない場所
安全が確保できる場所へ避難してください。
最寄りの避難所はどこですか？
 - 自宅の2階や近隣の頑丈な高い建物
自宅や近くの建物などの2階以上へ垂直避難してください。
 - 自宅待機
むやみな移動はかえって危険です。屋内で安全を確保してください。

- ### どうやって逃げますか？
- #### 避難時の注意事項
- ・歩きやすい服装にしましょう。
 - ・隣近所に声をかけましょう。
 - ・無理な移動はやめましょう。
 - ・配慮が必要な人がいたら、協力しましょう。
 - ・飲料水、食料、懐中電灯など、非常用物資を持っていきましょう。